



「水どころ宜野湾」の知られざる働きと記念碑

昨年十一月に発生した「導水管破損による広域断水」にはとても驚きましたよね。近年経験しなくなってきた「断水」の不便さを、改めて実感し直したのではないのでしょうか。限りある「資源」としての「水」の重要さを、今一度考え直す機会にもなったのではないかと思います。

さて、ダムができる以前の沖縄の水事情はどうだったのでしょうか。おじいさん、おばあさんから話を聞いて知っている方も多いと思いますが、沖縄におけるかつての生活用水は「湧水」に大きく頼っていました。飲み水はもちろん、水浴や洗濯、野菜洗い、牛馬洗いなど、水が必要とする多くの作業には湧泉の水を使っていました。



▲1977年の航空写真

このように、人の命をつないでくれる大切な「水」ですので、古くから祈りの対象にもなっています。

宜野湾ムラ（現宜野湾市）は特に湧水に恵まれている場所で、戦前、ムラのいくつもの湧水からは導水管を通して那覇へも水を送っていました。中でも特に水量が豊富だったのが、大山と伊佐の境にある「オーグムヤーガー」（別称・フルチンガー）です。現在も水は豊富に湧いていますが、全体が暗渠になり目にする事ができません。

しかし、那覇への送水を祝ってオーグムヤーガーに建立された「瑞泉潤民」の記念碑は、那覇市おもしろまちの「那覇市上下水道局・みずプラッサ」の庁舎前に移され、今日でも目にする事ができます。古来よりあらゆる生き物において欠かすことのできない「水」、これからも感謝の気持ちを持ち続け大切に使用させて頂きましょう。



▲「瑞泉潤民」の碑 那覇市上下水道局庁舎前

問 文化課 ☎ 89314430



地域との共同企画展

宜野湾の「字」展

〜じのーんどうむら〜

琉球王国時代から戦前にかけて、宜野湾の中心であった「じのーんどうむら」（宜野湾同村）すなわち字宜野湾の、歴史やくらし、文化財などについて紹介します！

- ▼期 間 1月31日(土)〜3月29日(日)
- ▼場 所 市立博物館 企画展示室
- ▼入 場 料 無料



博物館市民講座受講生募集

「みぐてい、イガルーシマ
〜じのーんどうむら〜」

字宜野湾の街並みに残る戦前・戦後の痕跡を、徒歩でめぐりながら紹介します。

- ▼日 時 2月8日(日)
10時〜12時(受付9時30分)
- ▼集 合 場 所 宜野湾区公民館
- ▼講 師 平敷兼哉(市立博物館館長)
- ▼定 員 25人(先着順)
- ▼参 加 費 50円(保険料として)
- ▼申 込 期 間 1月18日(日) 9時〜

「発掘!ぎのわん史」

これまでの発掘調査で分かってきた私たちが生まれる前の「ぎのわん」の歴史を垣間見ていきます。

- ▼日 時 2月22日(日)
14時〜16時(受付13時30分)
- ▼場 所 市立博物館 2階研究室
- ▼講 師 長濱健起(市立博物館係長)
- ▼定 員 ①来場参加…40人
②オンライン参加(ZOOM)…100人 ※先着順
- ▼参 加 費 無料
- ▼申 込 期 間 2月1日(日) 9時〜

問 申 市立博物館 ☎ 870-9317
※休館日…火曜日・祝日
※開 館…9時から17時(最終入館は16時半まで)